



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 加藤産業株式会社

コード番号 9869 URL <http://www.katosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 和弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 鷹尾 和彦

TEL 0798-33-7650

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	536,992	2.4	8,167	1.6	9,040	3.8	5,002	9.7
23年9月期第3四半期	524,409	6.2	8,038	17.8	8,712	17.1	4,559	11.5

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 5,384百万円 (1.8%) 23年9月期第3四半期 5,286百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	133.57	—
23年9月期第3四半期	121.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	240,366	78,097	32.1
23年9月期	218,620	74,437	33.6

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 77,105百万円 23年9月期 73,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	17.00	—	25.00	42.00
24年9月期	—	21.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 23年9月期期末配当金の内訳 普通配当 23円00銭 特別配当 2円00銭

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	725,000	3.2	11,050	3.6	11,800	2.1	6,350	0.8	169.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期3Q	38,153,115 株	23年9月期	38,153,115 株
② 期末自己株式数	24年9月期3Q	699,345 株	23年9月期	698,991 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期3Q	37,453,992 株	23年9月期3Q	37,454,365 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要など内需を中心として緩やかに回復しているものの、欧米の経済不安や中国経済の減速などの影響を受け、景気の先行きは依然として不透明な状況にありました。

食品流通業界におきましても、個人の消費マインドは、夏場の電力供給不足の懸念や電気料金の値上げ、消費税増税など今後の生活への不安から防衛意識が一層高まり、内食化傾向がさらに進行する中で、価格面を中心とした企業間競争はますます激化し、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような中で当社グループは、消費者ニーズに対応した商品の開発・品揃え等、提案型営業を推進し、小売業をはじめ取引先との取り組みを一層強化するとともに、諸経費の抑制及び業務全般の生産性向上等による経営の効率化に努めてまいりました。また、平成24年1月27日にジャム類製造業である兵庫興農㈱の株式を新たに取得して子会社とし、製造事業の拡大に向けた基盤の確立と機能の充実を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ2.4%増加し5,369億92百万円となりました。利益につきましては、利益管理の徹底並びに物流コストをはじめ諸経費の抑制に努めたことにより、営業利益は81億67百万円(前年同四半期比1.6%増)、兵庫興農㈱の株式を取得したことによって発生した、負ののれん発生益1億86百万円を「持分法による投資利益」に含めたこと等により、経常利益は90億40百万円(前年同四半期比3.8%増)となりました。

そして当第3四半期純利益は、東日本大震災により前年同四半期に計上した災害による損失4億42百万円の影響がなくなり、前年同四半期に比べ9.7%増加し50億2百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

<常温流通事業>

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、昨年の東日本大震災による特需の反動の影響が見られるものの、多様化する消費需要に対応すべく、提案型営業を推進し、仕入先とも連携して主要得意先との取り組みを強化するとともに、自社PB商品の拡売を図りました。

その結果、食品スーパー、生協並びに出店拡大が顕著なドラッグストア、ディスカウントストア等への販売が堅調に推移したことにより、売上高は4,368億29百万円(前年同四半期比2.6%増)となりましたが、価格競争等の影響によりセグメント利益は70億85百万円(前年同四半期比0.6%減)となりました。

<低温流通事業>

低温流通事業につきましては、消費者の内食化の進行により飲食店等外食向けの販売は厳しい状況で推移しましたが、家庭用チルド食材や惣菜を中心に主要得意先への取り組みを強化し、拡売を図りました。一方、低価格競争の影響を受けて売上総利益率が低下し、物流コストをはじめ諸経費の抑制に努めたものの、利益は前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は599億37百万円(前年同四半期比0.3%増)、セグメント利益は計画を上回ったものの2億19百万円(前年同四半期比2.9%減)となりました。

<酒類流通事業>

酒類流通事業につきましては、少子高齢化や若年層のアルコール離れが依然続いている中で、発泡雑酒・ハイボール缶・ノンアルコールビール(清涼飲料)類は比較的順調であり、またワインも低価格帯を中心とした飲用層の拡大と低アルコールワインの浸透もあり好調でした。しかし、市場は依然として縮小傾向にあり、厳しい経営環境で推移しました。

その結果、売上高は444億87百万円(前年同四半期比2.5%増)、セグメント利益は3億33百万円(前年同四半期比3.1%増)となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、物流関連(配送、庫内作業請負等)がその主な事業内容であります。当社グループの売上が堅調に推移したことに伴う取扱量の増加等により、売上高は72億96百万円(前年同四半期比2.6%増)、セグメント利益は5億33百万円(前年同四半期比52.6%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ217億45百万円増加し2,403億66百万円となりました。

流動資産は、主に売上債権及びたな卸資産が増加したことから、210億65百万円増加し1,631億95百万円となりました。また固定資産は、主に子会社株式の取得により、6億79百万円増加し771億71百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務が増加したことから、180億53百万円増加し1,537億円9百万円となり、固定負債は、主に退職給付引当金が増加したことから、32百万円増加し85億59百万円となりました。

そして純資産は、36億60百万円増加し、780億97百万円となり、その結果、自己資本比率は32.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月11日に公表しました業績予想に修正はありません。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,978	41,945
受取手形及び売掛金	80,174	99,964
有価証券	3,101	3,103
商品及び製品	11,544	13,439
仕掛品	5	4
原材料及び貯蔵品	496	728
繰延税金資産	782	458
その他	3,521	4,045
貸倒引当金	△475	△495
流動資産合計	142,129	163,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,423	15,099
機械装置及び運搬具（純額）	1,834	1,682
工具、器具及び備品（純額）	298	296
土地	24,617	24,622
リース資産（純額）	999	984
建設仮勘定	9	42
有形固定資産合計	43,183	42,729
無形固定資産		
ソフトウェア	3,680	3,700
電話加入権	35	35
その他	10	10
無形固定資産合計	3,726	3,745
投資その他の資産		
投資有価証券	22,188	23,208
長期貸付金	252	252
差入保証金	2,097	2,155
投資不動産（純額）	996	1,232
繰延税金資産	516	469
その他	3,698	3,471
貸倒引当金	△166	△93
投資その他の資産合計	29,582	30,696
固定資産合計	76,491	77,171
資産合計	218,620	240,366

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	124,366	143,462
短期借入金	408	177
リース債務	329	356
未払金	5,927	6,856
未払法人税等	2,752	1,016
未払消費税等	218	270
設備関係支払手形	7	—
未払費用	201	120
賞与引当金	1,098	715
役員賞与引当金	78	57
その他	266	675
流動負債合計	135,656	153,709
固定負債		
長期借入金	463	359
リース債務	689	649
繰延税金負債	101	107
退職給付引当金	5,535	5,645
役員退職慰労引当金	490	483
資産除去債務	119	125
その他	1,126	1,187
固定負債合計	8,526	8,559
負債合計	144,183	162,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,806	8,806
利益剰余金	57,397	60,677
自己株式	△860	△861
株主資本合計	71,276	74,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,283	2,549
繰延ヘッジ損益	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	2,283	2,549
少数株主持分	877	991
純資産合計	74,437	78,097
負債純資産合計	218,620	240,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	524,409	536,992
売上原価	486,874	499,253
売上総利益	37,535	37,738
販売費及び一般管理費	29,496	29,571
営業利益	8,038	8,167
営業外収益		
受取利息	75	73
受取配当金	368	416
不動産賃貸料	304	275
持分法による投資利益	—	143
その他	188	231
営業外収益合計	937	1,140
営業外費用		
支払利息	13	38
不動産賃貸費用	221	203
持分法による投資損失	14	—
その他	13	25
営業外費用合計	263	267
経常利益	8,712	9,040
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	13	4
子会社清算益	34	—
補助金収入	—	14
災害見舞金	50	—
災害による損失戻入益	—	22
特別利益合計	99	42
特別損失		
固定資産除売却損	24	129
投資有価証券評価損	278	103
投資有価証券売却損	0	0
投資有価証券償還損	—	1
ゴルフ会員権評価損	—	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	93	—
災害による損失	442	—
特別損失合計	838	235
税金等調整前四半期純利益	7,972	8,848
法人税、住民税及び事業税	3,095	3,263
法人税等調整額	267	484
法人税等合計	3,362	3,747
少数株主損益調整前四半期純利益	4,609	5,100
少数株主利益	50	97
四半期純利益	4,559	5,002

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,609	5,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	685	272
繰延ヘッジ損益	2	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	11
その他の包括利益合計	677	284
四半期包括利益	5,286	5,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,187	5,268
少数株主に係る四半期包括利益	99	115

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	418,503	59,467	43,015	520,987	3,422	524,409	—	524,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,088	276	379	7,744	3,687	11,432	△11,432	—
計	425,592	59,743	43,394	528,731	7,110	535,841	△11,432	524,409
セグメント利益	7,126	226	323	7,676	349	8,025	12	8,038

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額12百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	429,502	59,747	44,144	533,394	3,598	536,992	—	536,992
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,326	189	343	7,859	3,698	11,558	△11,558	—
計	436,829	59,937	44,487	541,254	7,296	548,551	△11,558	536,992
セグメント利益	7,085	219	333	7,638	533	8,171	△4	8,167

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。